



暖かくなりましたね、春がやってきました
あちらこちらで桜が満開でとても綺麗です
春の到来で世界も楽しくなるかな…と思いきや
内外共に騒がしくなってきました
米国の保護主義的な通商政策で日本に影響しないか…
日本企業はこれに伴う被害を最小限に止めたいものです
中朝が会談し米朝会談予定、この先北朝鮮問題はどうか
中国は憲法を改正し習政権の独裁政権になるのでは…
日本では森友問題など心配の種が増え
春が来たとはいえ、手放しでは楽しんでいただけませんね
とは言うものの…
良いお天気が続いているのでお花見を楽しみたいです

～4月掲載内容～

- *米 国～輸入制限
- *中国政府の反応
- *日 本
- *株価下落率
- *中 国
- *憲法改正(中国)
- *習氏による一極支配が制度化
- *習近平体制の陣容
- *中国北朝鮮
- *韓 国～北朝鮮問題
- *元大統領また逮捕
- *外国人実習生

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

米 国～輸入制限



3月23日、トランプ米政権は鉄鋼25%、アルミに10%の関税を課す輸入制限の発動など強硬な通商政策を取りました。

中国の過剰生産で格安製品が流れ込み、国内産業の衰退が国家安全保障上の脅威になると判断し、1982年以来36年振りに同法に基づく輸入制限に踏み切りました。当初は全ての国を対象にする予定でしたが、ホワイトハウスは3月22日に北米自由貿易協定(NAFTA)を再交渉中のカナダとメキシコに加えオーストラリア、欧州連合(EU)、アルゼンチン、ブラジル、韓国の計7カ国・地域を暫定的に対

象外となった国・地域と共に、日本も今後は米国に有利な譲歩案を示すよう迫られる可能性が高くなっています。

米国は最大の貿易赤字国である中国に米通商法301条に基づく制裁措置も発動、最大で年間600億ドル(約6.3兆円)相当の中国製品に25%の追加関税が課される見通しです。対象品目は米通商代表部(USSTR)が15日以内に公表する予定で、電子、通信機器など約1300品目に及ぶ可能性があります。

3月23日、通称代表部は知的財産権をめぐる対中制裁措置に関連し、世界貿易機関(WTO)に提訴する手続きを開始したと発表、第1段階となる中国との2国間協議を要請し協議は通常60日間で不調に終わればWTOの裁判所にあたるパネル(紛争処理小委員会)の設置を求めます。制裁と併せ中国に政策変更を迫る構えです。

通称代表部代表のライトハイザー氏は日本と2国間の自由貿易協定(FTA)の締結に向けた協議を始めたいとの意向を示しました。また、同氏は韓国の適用除外について「米韓FTAの再交渉をしているため」と説明し、輸入制限を2国間交渉の材料とする姿勢を示唆しました。



ロバート・ライトハイザー氏

中国政府の反応

3月23日、中国商務省はトランプ政権による鉄鋼、アルミニウムの輸入制限に対抗し、一部米国製品の輸入関税を最大25%引き上げる対抗措置を準備していると発表しました。ワイン、果物、一部鋼管製品など120品目につき15%、豚肉など8品目に25%を課するというもの。対象品目の2017年輸入総額は計30億ドル(約3200億円)にのぼります。

また、「中国は貿易戦争を望まないが戦いを恐れることはない、正当な利益を守るため必要な措置を講じる」と新たな対米制裁の発動も示唆しました。

その上、北朝鮮カードも手に入れ米国に圧力を掛ける一手になるようです。

さあどうする！トランプ大統領!!

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

日 本

日本は甘さを露呈しています。米国の輸入制限で欧州連合(EU)などが暫定的な適用除外となる一方、日本は適用とは何事だ、あれだけ米国に寄り添ったのに…。世耕経済産業相は記者会見で、緊密な日米同盟にも関わらず国別適用除外から漏れた理由を問われ「極めて遺憾だ」とコメントしました。

日本の輸出が製品別の適用除外になることに「かなり可能性が高い」と述べ「日本の鉄鋼業界への影響がそんなに出ることはないのではないか」との考えを示し、引き続き日米関係に自信を見せました。製品別除外は6月以降にも判断される見通しですが、それでも出遅れたことは事実です。



世耕 弘成経済産業大臣

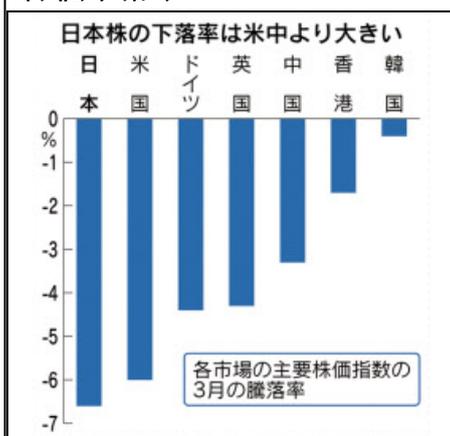
米韓では3月26日に米韓自由貿易協定(FTA)の再交渉が大筋合意に達しています。

トランプ大統領はこの合意を踏まえ、大国の強みで日本にもFTAの締結を要求してくると思われれます。

日本が提唱するTPP(環太平洋パートナーシップ協定)を推進し、嫌がる米国をも巻き込もうとしていましたが、トランプ大統領は就任当時から不参加を表明、日・豪・加など11カ国の参加を表明し、協定を締結しようとした矢先に対抗措置を打ち出したともいえます。

それにしても日本政府…甘いとしか言わざるを得ません。経産省、外務省は何をもたもたしているのか、インテリジェンス(知性・知能・理解力・情報)が足りませんね！

株価下落率



トランプ大統領の保護主義的な通商政策に株価は下落しています。中でも日本株が断トツに下落。日経新聞から拝借したものです。左の図表を見ればよく分かります。

この原因は米中貿易戦争への警戒感が世界経済に打撃を与えたもので、米中の契機に失速、円高懸念からです。米中は関税の引き上げ合戦になるのではないかと…そうすると世界の貿易が停滞、景気が引き下げられるという心配からなのです。

株価に関して日本が一番影響を受けているのは、日本株がアジア市場で日々の売買金額が最も大きく、一度に大量の注文を

吸収する事が出来るので、運用資産額が大きい海外勢には中国株などの下落リスクを回避するために株価指数先物などを使って、まずは日本株に売りを出す投資家が目立つ事です。

株安局面でアジア株の仲で真っ先に売られる事が多い日本株は、結果として値動きが大きくなり易く、これが株価下落局面でも大きく稼ごうとする投機マネーの売り注文を呼び込み日本株の下げを増幅しているのです。(以上日経を参照)

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

中国

～習近平総書記(国家主席)の長期独裁政権への布石・ナンバー2に王岐山

3月17日、中国の全国人民代表大会(全人代、国会に相当)が北京の人民大会堂で全体会議を開き、習近平国家主席(64)を再選すると共に、国家副主席に汚職に辣腕を奮い習近平を現在の地位に押し上げた王岐山前共産党中央規律検査委員会書記(69)を選出しました。2期目の習指導部は王氏が事実上のナンバー2として習一極体制を外交面などで支え、最高指導部・政治局常務委員を退任後、国家副主席に就任する異例の人事です。



王氏は昨年10月に68歳以上は退任するという慣例に従い政治局常務委員を退きましたが、国際金融や経済政策にも精通し、米国の政財界に太い人脈を持つと言われており、就任早々フィリピンのカエタノ外相と会談しています。

習と王は朋友であり気軽に話が出来た関係で、一方の李克強国務院総理(首相)とは距離をおいており経済担当となっているものの、実際は思うように仕事ができない状態になっています。

中国は習・王の二人三脚の朋友同士で長期政権を目指す基盤が整いました。

王岐山の経歴	
名前	王岐山、ワン・シーシャン、オウ・キザン
生年月日	1948年7月1日(69)
出身地	青島市 原籍は山西省
出身校	西北大学歴史学部
経歴等	太子党

王氏は党中央規律検査委員会書記に就任して直ちに腐敗官僚の摘発に辣腕を振るい指揮し、汚職の嫌疑により摘発された官僚の大半は江沢民派の人物でした。これについては王氏が2017年の第19回党大会で最高指導部入りする可能性のある胡派の次世代指導者の周辺にターゲットを絞り、調査したのではないかと指摘する説があります。

憲法改正(中国)

これより先3月11日には共産党の指導的役割を明記し、国家主席の任期を2期(10年)までとしていた規定をなくす憲法改正案を可決しました。中国の憲法改正は2004年以来の14年ぶりです。

改正前の憲法では2013年に国家主席に就任した習近平氏の任期は22年で終わる事になっていましたが、改憲案が可決され任期が撤廃された事により23年以降の3期目の続投も可能となりました。建国の父、毛沢東に匹敵する異例の長期政権に向けた布石と言えます。

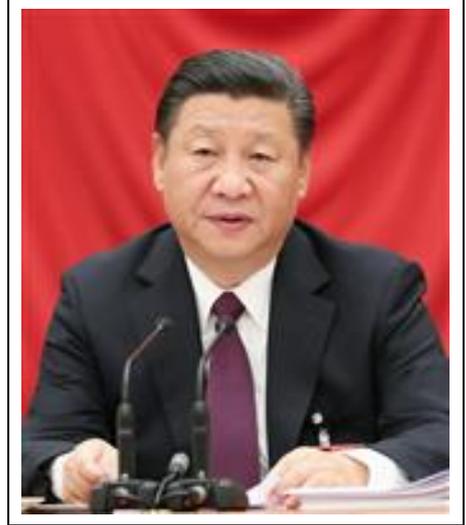
無記名投票で2964人が投票し賛成は2958票で、改正要件の3分の2以上を大きく上回り99.8%に達しました。反対は2票で棄権は3票、無効票は1票で改正憲法は即日公布施行されました。

この憲法の前文には昨秋の党大会で党規約に書き込んだ習氏の政治理念「習近平の新時代の中国の特色ある社会主義思想」や習氏が唱えるスローガン「中華民族の偉大な復興」を明記し、一強体制を築いてきた習氏の権威を更に高めました。

中国の歴史を見ると毛沢東が支配していた中国に弊害が出て何千人もの人々が文化大革命で亡くなりました。当時の最高実力者である鄧小平氏はこの教訓を踏まえ1期5年、これを2期までと定めていました。

習近平氏も例外ではなく、青少年期には農村への下放を経験した習氏は文革の被害者だったのです。これを再び元に戻し長期に渡る政権維持をし、憲法に習近平理念を入れたのは個人崇拜すなわち毛沢東時代に逆戻りする独裁者との懸念が高まる恐れがあります。

右の写真は2018年3月20日、中国全国人民代表大会で演説する習近平国家主席。



習氏による一極支配が制度化

習政権は3月21日、共産党と国家の機構改革案を発表しました。その改革案とは習政権の皇帝地位を確立し、揺るぎないものにする為の政策です。

☆外交や経済を統括する党の指導グループをそれぞれ委員会に事実上格上げし、党が重要政策を指導する体制を強化…李副首相の立場をより軽減されるか

☆尖閣諸島がある東シナ海などで監視(?) 活動を行う中国海警局(海上保安庁に相当)が、中央軍事委員会直属の武装警察部隊(武警)に編入される…軍の管轄下に入って強化されたのです。

☆党中央宣伝部が報道・出版、映画部門を直接管理する。

国営メディアの中国中央テレビ(CCTV)と中央人民放送局、中国国際放送局を統合して中央放送電視(テレビ)総局を新設…政府・党の宣伝機関を強化

☆党中央統一戦線部に国家宗教事務局を編入、国家民族事務委員会も直接指導し宗教・民族政策を党が一元的に担当する。学校での思想や政治教育を統括するグループも新設。

…少数民族(55 集団)を併合、あるいは民族浄化政策、愛国的教育、宗教、報道を規制する

習近平体制の陣容

中国の体制を仕切る陣容はどのようなものか?

昨年10月、これまでの中央政治局常務委員会7人のうち、習近平総書記(64)と李克強首相(62)が留任、新たに栗戦書中央弁公庁主任(67)、汪洋副首相(63)、王滬寧中央政策研究室主任(62)、趙楽際中央組織部長(61)、韓正上海市党委員会書記(64)の5人が昇格しました。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp



習近平



王岐山



李克強



栗戰書



汪洋



王滬寧



趙樂際



韓正

【習近平】しゅう きんぺい、シー チンピン

1953年6月15日生(64)

配偶者は軍隊歌手で国民的歌姫と言われた彭麗媛(ポン・リーユアン)(55)

父は習仲勳、政治家で現中国共産党総書記でしたが文化大革命後まで16年間拘束

習近平は父が迫害されたことに伴い反動学生と批判され、陝西省のド田舎に下放されました。田舎での生活はダニと共に洞穴での生活を強いられた事もあり、この中で地元の人々に助けられました。秀でた人物と評価され生産部隊党の支部書記を務め、その後父が許された事に伴い精華大学に入学し、厦門副市長などをはじめ多くの役職に就きました。

第17期政治局常任委員会には胡錦涛直系の中国共産党主義青年団(共青団)出身の李克強(現国務院総理)と総書記の椅子を争い勝利しました。これは背後で胡直系の共青団と元総書記の江沢民系の上海閥の権力闘争で、太子党(共産党の高級幹部子弟等で特権的地位を占めるもの)出身等、習近平と共青団の争いでもありました。

【李克強】 リー コクキョウ、リー クーチアン

1955年7月1日生 (62)

出身地は安徽省で出身校は北京大学

胡錦濤とは同郷であり共青団出身、党内序列は習近平に次ぐ党内第2位で国務院総理(首相)で、主に経済を担当するものの任務の権限は太子党出身の習近平に狭められ実力を発揮できない状態。

【栗戦書】 リー センショ、リー チャンシュー

1950年8月30日生 (67)

出身地は河北省、出身校は河北師範大学(夜間大学)

党内序列第3位、貴州省という貧しい省での政治経験とロシアのプーチン大統領とのパイプ役としての任務を担う。

【汪洋】 おう よう、ワン ヤン

1955年3月12日生 (63)

安徽省出身で出身校は中国共産党中央党校

貧困家庭に生まれ早くに父を失くし高校すら卒業出来ず、食品工場で労働者として働き後に共青団に入り省の副書記まで昇進、副省長まで昇進を続けた。

率直で分かりよい発言で知られており言論の自由などに寛容で、新産業の育成や経済の活性化など所謂改革派であり製造一辺倒であった広東省での構造改革(広東モデル)にリーダーシップ力を発揮した人物。

【王滬寧】 おう こねい、ワン フーニン

1955年10月6日生 (62)

上海市出身で出身校は復旦大学

新権威主義として呼ばれる論客として注目を集める。

江沢民、胡錦濤時代の中国共産党の指導ブレインであり、唯一地方での政治経験を持たない人物だが、政治には強い支配力が必要と提唱している人物で政治基盤の強化に必要な人物である。

【趙楽際】 ちょう らくさい、チョウ ルーキ

1957年3月8日生 (61)

青海省出身で出身校は北京大学

経済師の資格を持ち青海省省長などを歴任しました。

【韓正】 かん せい、ハン チェン

1954年4月生 (64)

上海出身で出身校は復旦大学、華東師範大学

上海市市長、党委員会書記などを歴任。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

解説)

中国の歴史は「只許州官放火、不許老百姓点灯」すなわち州官(役人)、いま風にいうなら幹部の放火は許されるが、老百姓(人民)には灯を点ける自由すらない…と言われてきました。中華千年の歴史は清廉潔白な役人が本当に少なく、大半は汚職にまみれた貧官汚吏(たんかんおり)だったので。これが共産党に代わろうが社会的な体質が変わる事がなかったのです。それどころか一党独裁になり役人の権力が大きくなるに従ってより大きく強いものになりました。違う言い方をすると権力が金、金が権力を生んできたのです。

習近平が朋友である王岐山の辣腕によってハエから虎までを探し出しは吊るし上げ、150万人を超える不正腐敗幹部の権力基盤を切り崩したのですが、腐敗を利用し権力を勝ち取ったという事も事実です。国民は拍手喝采で習近平を絶対の権力者に押し上げ作り上げたのです。いわば現在でいうポピュリズムを利用したのです。

しかし世界は、中国の知識人は習近平が絶対的権力を握った時に独裁政治へと結びつかないかと不安を隠せません。むしろ重要なことは仮に一時期良い成果をあげても、そのパフォーマンスを維持できなくなった時、独裁者の中では軌道修正が難しくなる事です。実際に世界三大独裁者と呼ばれるローマ帝国のカエサル、フランスのナポレオン、ドイツのヒトラーはいずれも政治的な混乱や停滞を恐れる世論を背景に一時は絶対的な権力を握りましたが、それぞれが暴走し始めたとき誰も止められなくなり悲惨な末路を辿りました。

中国北朝鮮



写真の通り習近平国家主席は26日と27日の両日に北朝鮮の金正恩委員長を北京に招き、中朝の和解を世界にアピールしました。

さて、陰悪な仲とされてきた金正恩氏を異例の厚遇で迎えた会談の背景にはどんな意味があるのでしょうか？北朝鮮としては各国の北朝鮮に対する制裁措置を解除したい、また米朝会談に向け中国の力を借りたい、一方中国は、このまま中国抜きで米朝会談をすれば中国の力が見せられない、万一米朝会談が合意に至らなく米国の軍隊が押し寄せる事にでもなればどうしようもありません。こうした中で両国の利害が一致したのではないのでしょうか？

北朝鮮は「中国は千年の宿敵だ」といい、中国と蜜な関係にあった叔父の張成沢(チャン ソンテク)を処刑したのも異母兄弟の金正男(キム ジョンナム)を暗殺したとされるのも親中派への見せしめという側面がありました。金正恩は「米韓が我々の努力に応え段階的で歩調を合わせた措置を取るなら非核化問題は解決できる」とし、習近平に意思疎通の強化や対話の擁護を要請し、生き残りを懸けて中国を最大の擁護者になってくれるよう宿敵に取り入れたのではないかと…必死の覚悟である事は間違いありません。

トランプ大統領は先月初めに金正恩氏と会談する意向を表明しました。中国は米国との経済摩擦が激しくなるなかで北朝鮮への影響力を取引の材料に使ってきた面がありますが、米朝が中国の

頭越しに対話を始めれば「北朝鮮カード」の効力は消えかねず、中国が受けた衝撃は小さくありません。そんな時制裁に困り果てた北朝鮮から中国に会談の打診があり、これは好機と急遽会談に漕ぎ付けたのではないのでしょうか？

習氏は今回の会談で金正恩氏との和解を演出し、米国と渡り合う際の「北朝鮮カード」を再び手にしたのです。トランプ政権とは既に水面下で中国の市場開放や関税の削減をめぐって交渉を進めています。米側が無理難題を要求してきた時には切り札を問題に米側をけん制する材料になり得ます。あらゆる外交資源を総動員して米国との貿易戦争を話し合いで回避するのが中国の基本戦略なのです。

解説)

筆者は拉致問題などを含め全面的に解決するはずがないと考えていますが、文大統領は驕り過ぎではないのでしょうか？北朝鮮問題は米国、日本の他各国が北朝鮮に圧力を掛けてようやく先が見えようとした段階で漁夫の利というか…自分勝手というか…果実を独り占めしようとする心は貧しいですね。北朝鮮と韓国、米国で解決の会談といいますが、日本は蚊帳の外…こんな事では益々韓国が嫌いになってしまいます。

また、中国の説得に耳を貸さず核開発に邁進する金正恩氏に、習氏は長く不信感を抱いてきたとされていますが、迎賓館を後にする金夫妻に「中国に頻繁に来て下さい」と習氏は夫人を伴ってわざわざ釣魚台迎賓館を訪れ、帰国の途につく金夫妻を見送ったとされ、習氏が外国からの賓客をここまで手厚くもてなすのは珍しい事だとされますが、打算と利害関係だけで成立した中朝の関係…果たして続くのやら疑わしい面もあるのではないのでしょうか？

韓 国～北朝鮮問題

韓国文大統領は3月21日4月末の南北首脳会談に向けた政府内の準備委員会に出席し「南北、米朝の各首脳会談を韓国、米国、北朝鮮3カ国首脳会談に繋げたい」と意欲を示しました。準備委員会は南北首脳会談の具体的な日程や議題を協議する高位級会談を今月29日に軍事境界線の板門店で開催するよう北朝鮮に提案しました。



文大統領はトランプ大統領が5月末までの開催を目指す米朝首脳会談の候補地の一つに板門店が取り沙汰されていることを念頭に、それに合わせて自信も交えた3カ国首脳会談(米・韓・北朝鮮)が開催される可能性に言及、一連の首脳会談を通じて「朝鮮半島の非核化と恒久的平和の実現を必ず果たさなければならない」と訴えました。

一方、韓国は2007年10月以来の10年半ぶりに3回目となる南北首脳会談が世界の目を集めるとして開催地の板門店の他にソウル近郊に大規模なプレスセンターを用意、南北問題の専門家を常駐させて解説する体制を取るという事です。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

元大統領また逮捕



韓国のソウル中央地検は23日未明、収賄や横領などの容疑で李明博(イ ミョンバク)元大統領を逮捕しました。2017年3月に逮捕された前大統領の朴槿恵(パク ウネ)被告に続いて韓国では約1年間に2人の大統領経験者が身柄を拘束される異例の事態となりました。

写真は3月23日に移送される李明博元大統領

李明博容疑者は大統領在任中に情報機関の国家情報院から工作資金である特殊活動費を大統領府に上納させ、その金を自身の側近に渡した疑い。検察は李容疑者が実質オーナーと見なす自動車部品会社ダースの裁判費用をサムスングループに肩代わりさせたとの容疑で収賄にも問われています。検察は収賄の総額が約110億ウォン(約11億円)、横領は約350億ウォンに上るとみられています。

検察は14日に李容疑者を事情聴取しましたが容疑を否認、ソウル中央地検は19日に韓国で大統領経験者の逮捕は全斗煥(チョン ドファン)氏、盧泰愚(ノ テウ)氏、朴被告に続いて4人目です。

解説)

いったい大統領が次々と逮捕される韓国とはどんな国?

1987年の民主化以降で任期を終えた大統領が逮捕されたのは4人目です。

李明博元大統領の場合、検察が2008年2月の大統領就任直前に嫌疑なしの判断を下していますが、なぜ今頃になって逮捕したのでしょうか…なぜ大統領経験者の逮捕が繰り返されるのでしょうか…歴代の大統領は1979年から2017年までの間に文大統領を除き11人です。

- ① 李承晩(イ スンマン)(初代から3代)…米国に亡命、養子が一家心中
- ② 尹潁善(ユン ボソン)(第4代)…軍法会議で懲役3年
- ③ 朴正熙(パク チョンヒ)(5代から9代)…暗殺される、長女は朴槿恵前大統領
- ④ 崔圭夏(チェ ギュハ)(第10代)…就任時には早期の改憲と民主化を約したものの戒厳令下で殆どイニシアティブを発揮できないまま全斗煥の肅軍クーデターを迫認せざるを得なかった。
- ⑤ 全斗煥(チョン ドファン)(第11代・第12代)…光州事件は内乱と認定され軍反乱罪、内乱罪などに対して死刑、収賄事件に関しては追徴金2259億ウォンの実刑判決が下されました。控訴審では無期懲役に減刑されましたが97年4月韓国大法院は上告を棄却、内乱罪に対しては無期懲役、収賄罪に対しては追徴金2205億ウォンが確定しました。同年特別赦免により釈放。
- ⑥ 盧泰愚(ノ テウ)(第13代)…軍刑法違反として懲役22年6ヵ月、1997年12月に特赦。
- ⑦ 金泳三(キム ヨンスム)(第14代)…経済状態が悪化、国際通貨基金(IMF)の援助を要請する事態となった事は韓国国民からは恥辱的とも受け取られそのまま任期で大統領を退任。
- ⑧ 金大中(キム デジュン)(第15代)…長男、次男、三男が逮捕。
- ⑨ 盧武鉉(ノ ムヒョン)(第16代)…任期終了後の2009年に6億円を超える不正資金疑惑について事情聴取され逮捕も近いと思われた矢先に自宅の裏山の岩崖から投身自殺。
- ⑩ 李明博(イ ミョンバク)(第17代)…約10億円の収賄容疑などで逮捕
- ⑪ 朴槿恵(パク クネ)(第18代)…友人と共謀して財閥から賄賂を受け取ったり、国の秘密漏洩や職権乱用など13件の容疑で逮捕

解説)

大統領経験者を見ると退任後、或いはその途中で自殺や逮捕など何らかの事件に巻き込まれたり、自ら事件を起こしたりと何事もなく退任した大統領はいません。これが韓国の代表者である大統領なのです。韓国の10財閥のトップの殆どにも逮捕歴があり、韓国とはこんな国であることは歴史の事実が証明しています。韓国人の友人も「大統領が自殺したり逮捕されたり…こんな国は韓国だけよね、恥ずかしいわ」と。不思議な国ですが…この国信用できますか!?

外国人実習生

第66期の実習生が3月24日、中国からやって来ました。

今回来日した人数は12人で、全員中国からです。彼女たちはサクラが見たい、富士山に登りたいなど日本の事を知っているようです。そんな彼女達はお金を稼ぎたいという事が動機となり来日した訳ですが、お金以外でも持って帰って欲しいものがあるのでオリエンテーションでは知識や良い習慣を身に付けて欲しい旨のお話をさせて頂きました。

彼女達の目は希望に満ちて春の露のようにキラキラしています。1カ月は日本語などの講習を受け企業に配属されます。こんなにキラキラした目…日本人にも欲しいですね!

また、同時に3年間の実習を終えた実習生が再び実習にやってきました。

当組合では初めての事です。



アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp